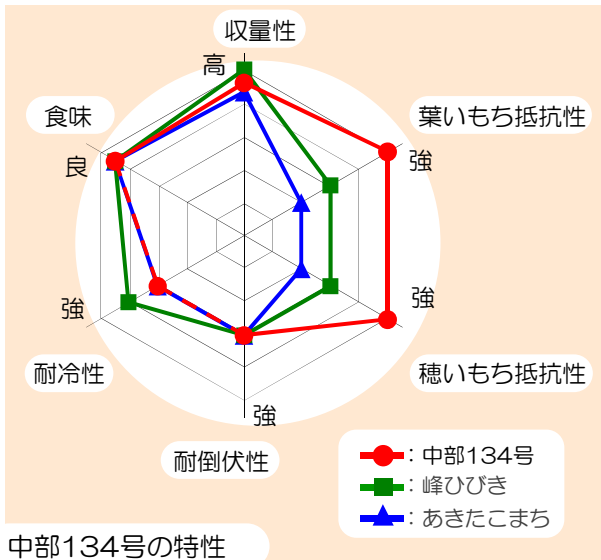




**いもち病に極めて強く、
おいしい水稻極早生新品種
「中部134号」**

(平成25年11月 品種登録出願)



本研究は農林水産省「指定試験事業」及び「農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業」で実施しました。

いもち病に極めて強く、おいしい水稻新品種「中部134号」を開発しました。
いもち病は、葉や穂に発生する水稻にとって最も被害の大きい病気で、農薬散布がかかせません。しかし、本品種は、本県で初めて「いもち病」に強い遺伝子を2つ備えることに成功したため、いもち病の農薬散布を不要にできます。

極早生品種のため、中山間地域では8月下旬から9月上旬に収穫できます。また、「あきたこまち」をベースに開発したので、食味も優れています。
いもち病の発生が特に問題になる中山間地域での普及が期待されます。
(山間農業研究所・環境基盤研究部)